

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	オルガノドライブラリーの構築による消化器疾患形質の統合的理解
研究代表者	佐藤 俊朗 (慶應義塾大学・医学部(信濃町)・准教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は、オルガノイド技術というユニークな手法を開発し、消化器疾患、特にがんを中心としてジェノタイプとフェノタイプ間の機序を解明するという極めて国際的に独創性の高い研究である。既に応募者は、オルガノイド技術を開発・確立し、卓越した業績を上げてきておりオルガノドライブラリーの作成は実現可能と判断する。オルガノイドの網羅的な解析の臨床面での応用にはまだ道のりは長いと考えるが、特に薬剤耐性スクリーニング等への臨床応用が期待される。オルガノドライブラリー構築による培養が生体内でのフェノタイプ変化をどのくらい正確に反映できるかが大きな鍵であるが、この点が担保された場合には大きな成果が期待される。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当な研究であると判断した。</p>